

柵の木からの手紙

2025年 睦月 1月号



👉 12月9日 👉 12月23日



👉 赤ビーツの保管状況



明けましておめでとうございます。

5日： 小寒

14日： 満月 旧 12月 15日

20日： 大寒

29日： 新月 旧 1月 1日

12月ともなると、根雪の時期が気になるところ。

2018年末までは12月上旬頃には根雪になっていましたが、2019年には根雪初日が無く年明け2020年1月6日の積雪が根雪になりました。この時を契機に、根雪の時期が12月下旬に変わってきました。左上の小麦畑の写真、右奥には有機JASの畑が見えています。雪が無いのです。

23日朝には積雪になり、寒いとは言え徐々に畝筋が見えるくらいに積雪が減りました。大晦日は降雪。元旦早々トラクターで、この冬初の除雪です。

積雪が少ないと土壌凍結が深くなり、芋の収穫時に畑に残った芋や落ちた芋が凍結して腐りやすくなり野良芋として生育する事が少なくなります。

反面、冬を越す秋播き小麦は、寒さで枯れやすくなります。

9月末に収穫した赤ビーツは約1,460kg。収穫後生出荷や加工、廃棄を経て12月15日に保管庫に入れた赤ビーツを整理して、伸びた葉っぱを取って腐れを処分したら、残ったのは写真の様に260kg程になりました。そして、同じ位の量が外品として残っています。2月には、び美っとビーツ「たべて紅」の加工が予定されています。大きい物で400g台が上で小さい物ばかり。



2025年1月2日 有機JASの畑 と 除雪の雪山

暦 と 気象 に関する俚諺の一つに次の様なものがあります。

☆ 雨量 と 地下水

雨量 ⇒ 旧正月元日から最初の未の日までの日数でその年の雨量を予知

元日 が 未 ⇒ 1合水 旱魃

三日目が 未 ⇒ 3合水 旱魃

十日目が 未 ⇒ 1升水 大水

地下水 ⇒ 正月元日 から最初の未の日の日数

2025年令和7年乙巳

旧正月 1月29日

最初の未 2月 7日 10日目

最初の未 1月 2日 2日目

雨量 10

— = — ⇒ 多い

地下水 2

☆ 旧正月 と 立春

2025年

旧正月 1月29日

立春 2月 3日

立春より早い ⇒ 春が早い 秋が短い

⇒ 立春と同じ頃 ⇒ 平年並み

立春より遅い ⇒ 春遅い 秋が長い 夏短い

☆ 豊作

・小寒の日（1月5日） 少し雨が降る ⇒ 麦 豊作

・小寒の日（寒の入り） 雪降るは ⇒ 豊作

・寒中に雷鳴 ⇒ 豊作

・寒中にしばしば雨降る ⇒ 春 豊作

・旱魃 に 凶作なし

・旧暦閏年に 凶作なし

☆ 凶作

・日蝕 ある年は ⇒ 凶作多い

・月食 ある年は ⇒ 蔓作凶作